

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉中学校（大阪市）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

単元の目標をクラウド上で共有することで、生徒自ら自己調整し学習に臨めるよう工夫

T いつでもどこでも学びにアクセス

授業で使用する提示資料はクラウド上に保存し、生徒がいつでもどこでもアクセスできるようにしています。授業中はもちろん、それ以外の時間にも確認できるので、学習を振り返ったり、さらなる課題を探究したりしています。



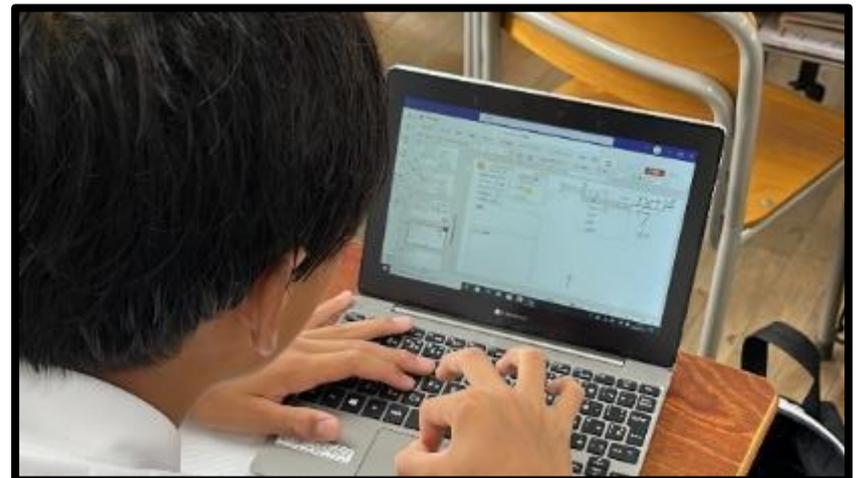
明日の授業はどんな内容かな？共有資料を見てみよう…。



P 共同編集で深い学びを実現

Teams上のPowerPointで作成した資料を共同編集しながら、課題を解決する学習を進めています。修学旅行における平和学習の資料作りなど、お互いの考え方を共有しながら解決方法を見つけていくことができますので、それぞれの気づきをもとに学習を深めることができます。

なるほど！
こんな考え方もあるね。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉中学校（大阪市）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びを支える協働学習支援ツールの活用

協働学習支援ツールを活用し、いつでもどこでも学びにアクセス

2年総合的な学習の時間「職場体験学習」

職場体験に向けて・・・

- ① 自分が体験する職種や事業所の場所・行き方をチェック
- ② 道徳教材（挨拶は言葉のスキンシップ、小さな工場の大きな仕事）を活用し、マナー講座等の事前研修を開催
- ③ 職場で質問したいことなどをグループで確認

生徒の反応



開店までにいろいろな準備があるんだなあ。効率的に進めるための工夫がたくさんあったよ。他のグループはどうかかな・・・

お世話になった事業者へ

作成したプレゼン資料は、お世話になった事業者の方にも共有。感謝の気持ちを伝えるだけでなく、中学生らしい新たな提案を伝えることもでき、「なるほど、取り入れてみようかな」と喜んでいただけました。



職場体験報告会のプレゼン資料を共同編集

1 クラウドを活用して資料を精選

職場体験時に教職員や生徒が撮影した写真はTeamsで共有されており、報告会のスライドを作成する際に活用します。追加したい映像はインターネットで調べます。



2 協働学習支援ツールの活用

生徒自身が職場で働く方に質問した内容など、投稿された情報を使い、Teams上PowerPointで共同編集しながらプレゼン資料を作ります。



3 職場体験報告会

資料が共有されているので、様々な発表を自分のペースで詳しく確認できます。プレゼン資料作りが上手なグループのスライドをじっくり閲覧するなど、より良い資料作りのコツに気づくことができます。



【取組内容②】クラウド上に動画教材を共有し、学びのポイントを焦点化

インターネットや副教材、オリジナル作成した動画をクラウドで共有し、視聴できるよう工夫

T 動画教材を活用し、学びのポイントを焦点化

見本動画をクラウド上で共有することで、事前に確認できるようにしています。

1年保健体育科「マット運動」では、授業中も適宜動画を確認できるようにしておくことで、技の習得のポイントを見つけられるようにしました。

はじめの姿勢と、
手の着き方をどう
すればいいかな。



T 実験動画を共有し、結果の分析につなげる

実験動画をクラウド上で共有することで、いつでも確認できるようにしています。

1年理科「状態変化」では、実験結果をグラフに表しながら分析していく際に、繰り返し視聴できるようにしておくことで、考察のポイントに気づけるようにしました。

急に温度が上が
るところがあるね。
どうしてかな…



【取組内容②】クラウド上で動画教材を共有し、個別最適な学びを実現

模範動画をクラウドで共有し、自分のペースでいつでも確認

1年 国語（書写）「天地」

書写で個別最適

- ① クラウド上に模範動画を共有
- ② 学習者用端末で視聴しながら書写
- ③ 清書を撮影し、チャットに投稿
- ④ 相互参照し、チャットでコメントを共有

生徒の反応



自分の端末で動画が見られると、気になる
ところを何度でも見たり、止めたりできるの
で便利!おかげで納得いく作品ができた!

手元で見られるよさを生かして

始筆や終筆、止め、はね、はらい
といった穂先の動きと、点画の
つながりなど、細かな運筆の様
子も手元の端末であれば、細
部まで確認することができます。
筆の持ち方も自然と真似するよ
うになるので、手元で確認でき
るよさを生かすことができます。



個別最適な学びの実現

1 先生は個別指導に専念

模範動画をクラウド上で共有す
ることで模範指導の時間が減り、
個に応じた指導の時間を十分
に確保することができます。生徒
も自分のペースで集中して進め
ることができます。



2 生徒の進度にあった学習

模範動画をいつでも確認でき
るようしておくことで、自分のペ
ースで見たいときに、見たい部分
だけを確認することができるので、
細部まで注意して書くことに取り
組むことができます。



3 クラスの枠を超えて相互評価

作品を写真に撮ってチャットに投
稿することで、クラスの枠を超えて
評価しあうことができます。こうし
た取組を通して言語能力の育成
につなげていきます。

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

日常的な持ち帰りによる学びの保障と個別最適な家庭学習の充実



個々の進捗状況に合わせて家庭学習も充実

授業中の課題に継続して家庭でも取り組めるように、クラウド上で課題や資料を共有する教科が増えています。技術家庭科（家庭分野）では、裁縫の課題が終わった生徒は端末を開いて家庭学習に取り組み、進捗を伝え合ったり、悩んでいた課題を相談したりする様子もみられました。

この柄の歴史について調べているんだけど…。



学級休業時も健康観察と情報共有

9月に学級休業があった際も、Teams等を活用して健康観察を行うことで、再開の判断もスムーズにできました。課題等も適宜共有していたので、中間テスト間近でも、生徒も安心できたようでした。

課題の提出締切が延長されたぞ。間に合いそう！



【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りから反転学習へ

事前課題をもとに個々の目標が明確になることで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現

1年保健体育「回転運動」

1 クラウド上の教材で、個別最適な家庭学習

～事前準備と家庭学習～

- ① 見本動画をTeamsで共有
- ② Jamboardで「回り始め」「回っているとき～着手」等といった“動き”の枠を作成し視聴の視点を共有
- ③ 生徒は家庭学習で見本動画を視聴し、課題を把握
- ④ 気づいた“技のコツ”をグループのJamboardに付箋で投稿

生徒の反応



みんながJamboardに書いているのを見ると、回っているときは、体を丸くして・・・特に首を縮めるようなイメージで回るといいみたい！意識してやってみよう！

共同編集機能を活用し、いつでも他者参照

学年全員の“技のコツ”を参照可能

気づいたコツを言語化し類似点から一般化へ

気づいた技のコツをリアルタイムで共有



事前課題による反転学習の授業では・・・

1 見本動画で課題を把握

見本動画を共有することにより、生徒自身がコツを考える探究学習につながります。発展的な回転運動（ロングアート等）の動画も共有し、生徒が自ら課題を選択して取り組む個別最適な学びにつながります。



2 “技のコツ”について交流

気づきを言語化した Jamboard は、技の習得に悩んでいる生徒にとって有効なヒントになります。他の生徒の気づきから、技を習得するための合理的な動き方について自分に合ったコツを見つけます。



3 いつでもどこでも確認

開始姿勢や手の着き方、回転するときの動きや終末姿勢等、演技をする中で焦点化された視点について、改めて見本動画で確認することで、「技」の習得につながります。



【取組内容④】 校務の徹底的な効率化を実現するクラウド活用

クラウド環境やツールを活用し、校務の徹底的な効率化

学校アンケートのデジタル化で校務を効率化

学校アンケートや学習のまとめはGoogleフォームを活用しています。アンケートは自動集計され、オンタイムで結果が出ます。プリントに回答されたアンケートを手作業で集計していた頃とは大違いです。

まだ回答できていない生徒は・・・



F 職員アンケートもデジタル化

毎年、行事が終了すると教職員対象にアンケートを実施します。これまで、紙でアンケートを実施することが多かったのですが、Microsoft Forms の活用が進み、回収・分析・共有の手間が大幅に改善されました。

来年度は、この競技の見直しが必要だな。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉中学校（大阪市）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化を実現するクラウド活用

欠席連絡アプリや自動採点システムの活用で業務改善

クラウドを活用した欠席連絡で校務を効率化

クラウドを活用した欠席連絡によって、朝の電話連絡を担当が直接対応する手間を省き、生徒と接する時間を確保しました。また、メール送信機能を利用して、今まで印刷していたプリントを送信することにより、ペーパーレスを実現しました。

メール機能を活用すると、忙しい保護者へも案内できるね。



クラウド上での採点作業で校務を効率化

クラウド上で採点作業を行うことで、教員の採点時間が大幅に減少しました。国語担当は、今まで2日以上かかっていた採点作業が、午前中に実施したテストの採点が、当日の退勤定時には完了したと驚くとともに、システムを導入して良かったと実感したようです。今後、様々なデータ分析にも取り組んでいきます。

採点にかかる時間がとても短くなった！



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉中学校（大阪市）

【取組内容④】 やむを得ず登校できない生徒への対応

日常的なクラウド活用をもとに、生徒とのコミュニケーションを絶やさず学びを止めないための取組を

クラウド上で教材を共有&オンライン学習

いつでもどこでも学びにアクセス

- ① 授業で使用する教材や単元計画、ルーブリック等をTeamsやClassroom上で共有
- ② チャンネル等を活用し、1日の予定やオンライン学習の有無を連絡
- ③ 課題機能等を活用し、学習成果物の確認・返信
- ④ 録画機能を用いて、オンデマンドによる配信

生徒の反応



休んでいる間にどれくらい授業が進んでいるのかが不安だったけれど、授業の様子がいつでもクラウドで確認できるので安心できるね。

別室登校の場合も・・・

様々な事情から別室登校をしている生徒も、クラウドに教材が共有されているので、教室での学習進度を把握することができます。それぞれのペースで課題に取り組んだり、オンデマンド動画や、オンラインで授業の様子を視聴したりすることで、学びの保障につながります。



学級休業になったときも・・・

クラウド上で学びを継続

普段の授業から、クラウド上に共有された教材やワークシートを活用しているので、休業時も継続して取り組むことができます。



課題の確認、支援も

課題機能等を用いることで、提出物の確認や、それに対するコメント、評価も簡単です。質問タイムとして個別のオンライン会議を設ける等、個に応じた指導も可能です。



オンライン学習も

TeamsやMeetの会議を利用し、双方向オンライン学習も行っています。リアルタイムに参加ができなくても、録画機能をもとに、オンデマンドで視聴できるようにしておくことで、自分のペースでくり返し確認することができます。



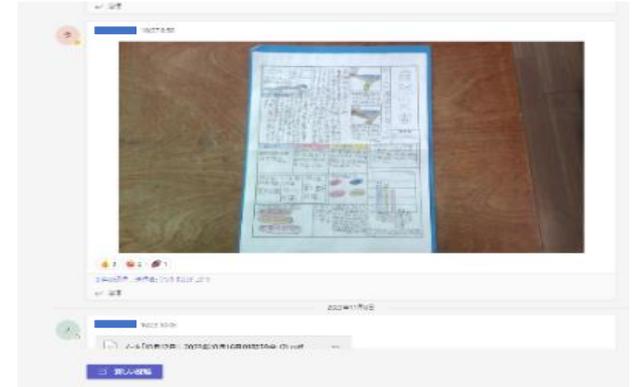
【取組内容⑤】クラウドを活用した小小連携・小中連携

資料の共有やチャットの活用で、学校の枠を超えた意見交流を実現

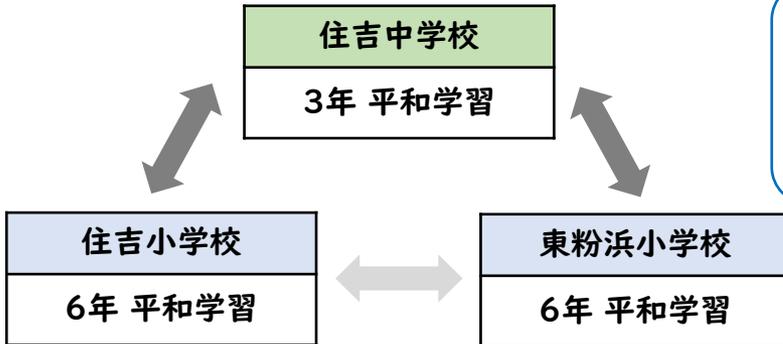
クラウドやオンライン会議を活用した2校間の交流（小小連携）

住吉小学校	東粉浜小学校
4年 社会「住吉区ハザードマップ」	4年 社会「災害新聞を作ろう」
6年 平和学習「ヒロシマが伝えるもの」	6年 国語「ヒロシマのうた」

⇒他校の様子を知ることにより、お互いの学校の学習活動を充実させる



投稿欄を活用した意見交流（小中連携）



生徒の反応

小学校の修学旅行では、戦争の悲惨さについて学んだね。中学校の修学旅行ではG7広島サミットの会場に行くから…



- ・ 投稿欄を活用し、中学生からアドバイスをもらうことで、小学生は現地での学習が充実したものに
- ・ 小学生にアドバイスすることで、中学生は個々の学びを振り返り、発展的な学びへ
- ・ 投稿体験を通して情報モラルを意識

